

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 団子さし	(ふりがな) だんごさし	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	団子さし		
伝承地域	三島町 大石田		
由来	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 神を迎える行事に、「松迎え」や「若木迎え」など山の木を依代 (よりしろ) に用いる場合がある。		
内容	<p>団子さしは1月15日を中心とした小正月の行事で、米粉を練って作った団子をミズキの枝にたくさん刺し、稲の花に見立てて五穀豊穡を予祝し、商家では商売繁盛の予祝とした。団子のほか、ナス、キュウリ、カボチャ等の野菜の形どったものや、米俵、馬、大判、小判等の縁起の良いものを作っている。養蚕農家では、「まゆ玉」を作り若木にさし供える。十二支の動物の形を作って枝と枝の間に挟んだり、下げたりするところもある。向え団子といって、大小2本の若木を一对として団子さしをする所もある。これを、オマエと呼ぶ居間の大広間に飾り付け、小枝の団子は便所や炊事場にもさす。子供達が団子の木に触って振ると、「稲の花盛りに大風が吹くからやめろ。」と戒める。</p> <p>なお、大神宮様には「七さし団子」を供え、神棚、仏壇、水神様、作業小屋には「七さし団子」所により「五さし団子」を、厩には「十七さし団子」を、囲炉裏のかぎどの様、厠には「二つさし団子」を供える所もある。また、このゆで汁を梅の木にかけける習慣もある。</p>		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	三島町教育委員会	電話0241-48-5599	

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)		※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご恵願います。(貼り付けずに、名前がわかるようにして同封ください。)
	性別・年齢	男 ・ 女 歳	
	生年月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日 生	
	住所・電話	〒 電話	
	職 業		

団 体	団体名（ふりがな）		
	代表者氏名（ふりがな）		
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成	年 月 日
	問い合わせ先		電話

【フリーフォーマット】

キーワード

(小正月)

小正月は女正月とも呼ばれ、嫁が実家に帰っても良いとされる日である。嫁が実家に帰っていないため、夫が料理をするのであったが、今ではその名残はなくなった。



(会津民俗館)



(三島町川井地区：三島町教育委員会)